

大軍拡・大增税ストップ! 消費税減税と賃上げで暮らしに希望を!

松戸市選出県議会議員

日本共産党

みわ よしみ 由美



●プロフィール
1955年 京都市生まれ 立命館大卒
現在 県議5期 健康福祉常任委員

物価高騰とコロナ禍に苦しむ国民生活をよそに、大軍拡と大增税に突き進む岸田政権。日本共産党は戦前、迫害を受けても命がけで戦争に反対し不屈にたたかい、「戦争放棄」を憲法に実らせました。苦しくても力を合わせれば政治を動かしよりよい社会をつくれます。県民の声、キャッチアップで走る県議! みわ由美、頑張ります!

みわ由美事務所 金ケ作 24-1 第5泉ビル 201 ☎ (711) 7282

「戦争と貧乏をなくすのが共産党の仕事だよ」 家賃の取り立てが怖かった...

父が結核に倒れ、貧しさのなか大家さんの家賃とりたてが怖かった子ども時代...「戦争と貧乏をなくすのが共産党の仕事だよ」という父の言葉を原点に育ちました。

ベトナム戦争に胸を痛み、社会変革の道を志し19歳で日本共産党に入党。99年の県議当選以来、県民の苦しみ・願いに寄り添い県内を走っています。



高校生、剣道部のみわ県議

病床減らし・公立病院つぶしストップ!

コロナ禍で命を守った砦(とりで)の公立病院。国の公立病院削減と一体の市立東松戸病院・梨香苑廃止は許せません。最後まで病院存続を求めるとともに、勝手な土地売却を許さず、回復期・慢性期病床の確保、バス路線の存続や避難場所の整備など、地域の皆さんと力を合わせます。



「存続させる会」の皆さんとともに

国いいなりオール与党議会に異議あり

岸田政権の暴走に県議会はダンマリ。自民・公明に立憲千葉民主の会まで一体の「オール与党」議会です。

2022年12月議会 主な意見書・請願への各党の賛否(○/×)	共産	自民	公明	立憲
「反撃能力保有」など大軍拡方針の撤回を求める意見書	○	×	×	×
物価高騰から生活を守るため、消費税引き下げと賃上げを求める意見書	○	×	×	×
学校での教員不足を解消するために正規教員を増やす請願	○	×	×	×

アンケートに寄せられた3つの怒り

1位 統一協会問題 **92.4%**

選挙協力、秘書の派遣から9条改憲の政策協定まで、統一協会と底なし沼の自公政治。松戸でも「維新の会」公認、松戸たかまさ県議と統一協会の接点が報じられるなど、さらなる闇の解明が必要です。

2位 物価高での年金削減 85.4% **3位** 軍事費2倍化 79.1%
ご協力ありがとうございました。

虐待から子ども守れ! 松戸に児童相談所が予算化!

「お父さんから暴力をうけています。先生どうにかできませんか」と訴えた小4女兒が虐待死。

「二度と繰り返すな」と市民と議会内外で運動、とうとう松戸に県立児童相談所を新設する予算がつきました。

市議会からの二度の意見書や県議会での10年越しの質問も力に、一歩も引かず「命と尊厳守れ!」と声を届け続けました。

「ありがとう」メール届く全県立学校に無償の生理用品

「生理用品が買えず靴下で代用」「外出しない」などアンケートの結果は衝撃的でした。

厚い壁を破ろうと、まず市内の県西部防災センターの防災備蓄倉庫を市民とチェック。「ほら、使える」と県に認めさせたことが始まりです。

県にしっかり予算化させ、全公共施設で実施させます。ジェンダー平等は世界の流れです。



「ほら、使える!」

「議員を減らして税金節約」では県民の声は届きづらくなります。千葉県議会では県民人口あたりの議員数は少なく、全国で下から6番目。はたらく議員をもっと議会へ!

国民に寄り添い100年の党一平和の老舗 **再び** 暮らしの願いを届ける確かな議員を県議会へ！

千葉県の子どもたちのためにも「みわ由美」県議を応援します！



教育環境常任委員
しまむら 新一

みわ由美県議の議席は、子どもたち、保護者にとってもなくてはならない議席です。教職員の未配置問題は、県北西の都市部で深刻になっています。今年度は、昨年度末 348 名を 12 月時点で上回り、過去最多の未配置数を更新しています。

みわ由美県議は県議会一般質問でも、この問題を取り上げ県議団として解決への施策提言を昨年8月に県へ提出し、教員採用数増に結び付けました。

身近な生活道路や信号機の設置等の問題でも、すぐに行政や県警へ働きかけるフットワークの良さで多くの要求を実現してきました。今回もぜひとも県議会へ押し上げてください。



◇住民の皆さんの声をキャッチアップしてみわ県議とともにさらなる取り組みに奮闘しています。

◆通学路・交差点の安全確保など多くの課題があり、みわ県議とともに解決に向けて前進しています。

「車の抜け道問題」一步前進！

東平賀地区の「車の抜け道問題」では、町会の皆さんとともに取り組み、白線やポールの設置など一定の改善が図られました。

みわ由美県議が地域住民のみなさんの要求に耳

を傾け、行政や県警に地域の皆さんと働きかけた結果です。住民の皆さんは、さらなるスピード規制を県警に求めています。



バリアフリー化、粘り強く！

流鉄・流山線の小金城趾駅は、40 数段昇って30 数段降りないと、駅のホームにたどり着けません。高齢者、足の悪い方、ベビーカーや車いす使用の方は利用ができません。

みわ県議は、地域住民の方と一緒に流鉄本社や本郷谷市長への要請行動に参加し、県担当課へも実現の道を相談するなど、実現に向けて粘り強く活動しています。



「歩行者信号」実現をさらに！



金ケ作地区では、大変道幅が狭く、歩行者の安全対策が求められていました。金ケ作自然公園角や金ケ作365 番地付近の交差点には、やっと歩行者用の手押し信号が設置されました。しかし、車用の感応式信号

は設置されていません。安全を考えると車用の感応式信号も必要です。

安全最優先の歩道を！



金ケ作県営住宅先からコンビニまでの歩道が狭く、側溝のふた部分を歩かなければなりません。道の途中には保育園もあります。朝は車の通行量が多く、いつ事故に巻き込まれるか、ヒヤヒヤしながら子どもを送

り迎えしています。改善に向けて取り組みます。

北小金駅階段の屋根設置！

北小金駅南口階段には、屋根が設置されました。以前は、雨が降ったときは傘を差してすれ違うのは大変でした。住民の皆さんの声と議員の働きかけで実現しました。北口の屋根設置も求められています。



多世代の居場所づくりに！

旧ゆうかり学園跡地は、土地の有効利用を地域住民の皆さんは希望しています。

2019 年 11 月にはたくさんの署名を市へ提出。「全世代が利用できる交流の場」という住民の声に市は前向きな回答。ぜひ一緒に実現していきましょう。



みなさんの声をお寄せください！

しまむら新一議員ダイアリー臨時号 2023年2・3月
 日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会 〒270-2252 松戸市千駄堀 1810-2
 ☎047-349-1544 <http://jcp-matsukama.main.jp/>